

第64回 大磯西行祭 献詠俳句・短歌入選作決定!!

皆さんから募集しました第64回大磯西行祭献詠俳句・短歌の各部門の入選作品が決定しました。

選者の献詠された句・歌及び入選作品は次のとおりです。
(敬称略・学年は応募時のもの)

【選者】

◎献詠句
本井 英

ときのけや西行の日を今年また
今村 妙子

円位忌の歩幅大きく踏み出しぬ
山田 真砂年

松籟に富士の輝き円位の忌
松尾 隆信



第64回大磯西行祭の式典は新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため、関係者のみでの縮小開催となりました。

花影をつつむ松籟西行忌
西山 睦

まなざしを沖に定むる西行忌

◎献詠歌

柳 宣宏

冬空にひきしまりたる枝ぶりの
木蓮は固く苔を結ぶ

今井 恵子

群れながら白鳥一羽コウと鳴き
一羽遅れて音なく動く

花山 多佳子

「ころなかの」枕言葉のごとく
して花鳥風月なべて詠まるる

【応募入選作品】

◎献詠俳句

〈一般の部〉

応募総数364句

第一位 愛知県岡崎市 西村 愛美

ピンポン玉のやうに子鴨の浮き
上がる

第二位 川崎市多摩区 苗村 登志子

遠くきて初蝶に会ふ西行忌

第三位 石川県かほく市 沖野 晶子

西行忌あれは花咲く音かしら

第四位 中郡大磯町 植地 素子

手摺なき石橋渡り西行忌

〈小学生の部〉

応募総数232句

第一位 茨城県桜川市立 谷貝小学校 中原 侑士

転校生色なき風のふく頃に

第二位 東京都世田谷区立 玉川小学校 原田 紺

こたつわきねこのクロちゃん立
ちました

第三位 東京都豊島区立 巢鴨小学校 木村 安那

夏山やあるいていくぞてっぺんに

第四位 大磯町立 国府小学校 及川 絢奈

春風が私の背中をボン、と押す

〈中学生の部〉

応募総数337句

第一位 愛知県名古屋市長 守山中学校 水野 結雅

自転車のタイヤの硬し山眠る

第二位 大磯町立 国府中学校 渡邊 仁菜

しゃばん玉笑顔になって消えて
ゆく

第三位 大磯町立 国府中学校 浜田 若奈

かさかさと落ち葉が笑う散歩道

第四位 大磯町立 国府中学校 西尾 巧

ラケットを最後の夏ににぎりし
め

〈高校生の部〉

応募総数121句

第一位 聖ウルスラ学院 英智高等学校 横溝 麻志穂

父といる焚火の中の無言かな

第二位 愛知県立 旭丘高等学校 渡邊 美愛

ゆふぐれの青に差し込むオール
かな

第三位 岩手県立 水沢高等学校 阿部 なつみ

着ぶくれや胸と背にある手術痕

第四位 岐阜県立 飛騨神岡高等学校 森下 朋花

ヒーローの真似する子等の背に
バッタ

第四位 北海道札幌市東区 藤林 正則

〈小・中学生の部〉

応募総数214首

第一位 愛知県名古屋市長 守山中学校 水野 結雅

食パンを耳だけ食べる父が好き
恥ずかしそうにオハヨウと言う

第二位 大磯町立 国府中学校 白井 蓼花

第三位 大磯町立 国府中学校 本間 結香

第四位 大磯町立 国府中学校 小島 侑己

◎献詠短歌

※短歌の部二位以下の作品は「今月の短歌」で紹介していきます。

〈一般の部〉

応募総数219首

第一位 三重県伊賀市 服部 あや

ゆくりなくつかまり立ちの曾孫
の手りハビリ中の手が支えをり

第二位 横浜市港北区 森山 比沙

第三位 愛知県名古屋市長 清水 良郎

〈高校生の部〉

応募総数63首

第一位 愛知県立 旭丘高等学校 渡邊 美愛

汗ばんだ両手と息で待つ合図
オールは風のように応えて

第二位 武蔵野大学附属 千代田高等学校 正木 亜実

第三位 星野高等学校 延島 永都美

第四位 東京都立 足立東高等学校 田中 佳穂

産産業観光課 ☎内線334